

令和7年度みやぎの青少年意見募集事業 ～報告資料～

テーマ



「若い世代の『居場所』について」



宮城県環境生活部共同参画社会推進課

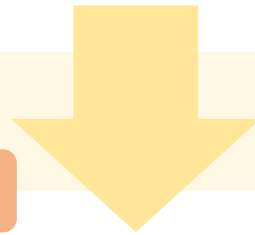
○概要

テーマ	若い世代の「居場所」について
担当課	子育て社会推進課
テーマ説明	若い世代の皆さんが安全に安心して過ごせる「居場所」が重要だと言われており、国や自治体も若い世代の皆さんのための居場所づくりを進めていこうとしています。 どんな場所が自分自身にとって「居場所」であるかは若い世代の皆さん一人ひとりによって異なります。県が居場所づくりのための取組を検討するために、意見を募集しました。
対象	県内の中学１年生～２９歳までの方
アンケート	
募集期間	令和７年７月３日～令和７年８月３１日
回答者	８７人（中学生３０人、高校生３７人、大学生・専門学校生など１６人、その他４人）
回答方法	WEBアンケート・紙のアンケート
意見交換会	
開催日	令和７年１１月５日
参加者	１８人（中学生７人、高校生７人、大学生以上４人）
実施方法	対面形式（場所：宮城県庁）、２つのグループに分かれて意見交換

○青少年の意見といただいた意見の活用

青少年の意見

- ・ 本当に信頼できる大人がいると、安心して話せる。
- ・ 会ったときに「おかえり」と言ってくれるようなコミュニティがあると、困っているときに「助けて」と言える。
- ・ 自分のペースに合わせて、寄り添ってくれる場所があるといい。
- ・ 専門家がいると安心。



いただいた意見の活用

いざというときに助けを求められる、専門家がいるような居場所をつくらうとしている市町村への支援を検討しています。

○青少年の意見といただいた意見の活用

青少年の意見

- ・スポーツができる場所なら利用したい。
- ・ゲームや漫画があると楽しいし、居場所になりやすい。
- ・一人でいられる場所や静かな場所があるといい。
- ・勉強も交流もできるスペースがあるといい。



いただいた意見の活用

居場所づくりに取り組む団体が、様々な機能や要素を持つ居場所を整備できるように、市町村への支援の方法を検討します。